

銃口にくろがねの艶青葉雨

昼寢覚戦国時代より戻り

四万十の山の重なり滴れり

意志ありありと横顔にみどりさす

ひろびろと沼の風入れ夏座敷

路地奥に老舗のパン屋額の花

高原の風に色増す額の花

長篠の瀧音のほか皆敵ぞ

紫陽花に落つる雨音墨を磨る

いにしへの風に舞ふなり能登上布

健康な虫喰ひキャベツ貰ひけり

桑の実へ手を伸ばし身を伸ばすなり

いちめんのネモフィラの海溺れさう

穂の国の水豊かなり植田風

魚釣りの顔ぶれ揃ひこどもの日

松本 淳子

安田 青葉

松井 節子

平間 裕子

岸 三恵

宮本 恵子

大野 順子

中原 修子

深谷 誠一

岩黒 恵子

高安 トキ子

下田 栄子

島津 教恵

馳 修子

村中 昌恵

拍子木の澄みし一打や神輿発つ

遠くよりさざ波の来て水張田

花蜂の羽音響けり花の中

初鳴きは雨空でありほととぎす

生きてゐる事も忘れて三尺寝

湖青く水を湛へて朴の花

畦塗るやところどころを平手打ち

つばくらめ囃歌の丘を自在にす

大水車青葉風受けよく回り

花筏解き放たれて海へ出づ

青嵐両手拵げて息を吸ひ

新玉葱のぼこぼこ干され新居宿

城址に探す四つ葉のクローバー

緑さす金刀比羅宮や海風げり

足音の近づいて来る昼寝覚

菊池 二三夫

橋本 公子

松田 章子

倉持 たけし

江田 実蝶

小山 和江

滑川 慶子

福田 信子

野口 光広

大貫 邦子

富田 はるみ

小野 明子

谷村 安子

下地 幸代

原 紀